

群馬県におけるコントラクター組織の先駆者として
～高品質なWCSを供給するために～

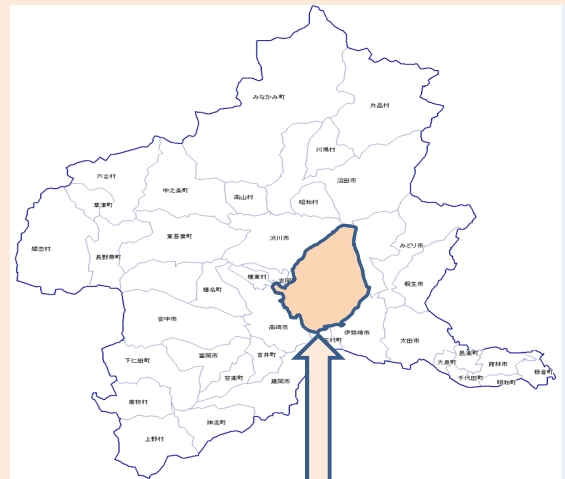
1. 地域の概況

前橋市は、群馬県中央部よりやや南に位置し、市の面積は311.64km²で、群馬県全体の約4.9%を占めている。人口は、約346,000人(H21年6月)で、県内1位である。

気候は、北・西部に連なる赤城、榛名、さらに上信越県境の山々に囲まれて、やや内陸性の気候である。平均気温は15℃前後、降水量は1,310mmとなっている。

市の農業は畜産、野菜、米、こんにゃくなど多彩な農産物を生産しており、産出額は3,100千万円と県内1位である。この高い農業産出額は盛んな畜産業によるものである。

農業における耕地面積は9,820ha、総農家数は8,435戸、専業数1,422戸となっており、畜産では乳用牛215戸・9,059頭、肉用牛159戸・11,902頭、養豚114戸・103,265頭、採卵鶏16戸・652,493羽(H18)となっている。



前橋市

1. 地域の概況

2. 地域畜産振興活動

(a)飼料収穫調整と広域流通システム

(b)品質管理の確立

(c)新規コントラクター組織の育成・指導

3. 今後の目指す方向と課題

群馬県におけるコントラクター組織の先駆者として
～高品質なWC Sを供給するために～

2. 地域畜産振興活動

(a) 飼料収穫調整と広域流通システム

背景として、粗飼料自給率向上と水田転作の推進を図る風潮があり、群馬県における唯一のコントラクター組織として平成14年度から飼料イネの収穫調整作業の受託を開始した。

事業開始後は、飼料栽培・収穫地域と事業利用希望地域の農協が連携することで、畜産農家へ「広域流通」という形で供給する取り組みを平成15年度から開始している。

また、平成17年度には細断型ロールベアラーを導入し、青刈りトウモロコシの収穫調整作業も受託できるようになり、短期間で高い実績を上げている。

このように、広域流通システムの確立と作業受託種目を増加したことで、受託面積及び利用農家数も年々増加しており、最近のように飼料価格が高値水準で推移している中、更なる受託面積の増加が期待されるところである。

作物	H17	H18	H19	H20
青刈りトウモロコシ	10.5	21.5	32.8	32.5
ソルゴー	2.0	8.1	7.2	4.6
大麦	2.0	—	2.4	4.9
エン麦	—	3.2	—	—
イタリアンライグラス	—	—	5.3	8.8
稲発酵粗飼料	43.9	53.1	60.7	67.7
合計	58.4	85.9	108.4	118.5

1. 地域の概況

3. 今後の目指す方向と課題

2. 地域畜産振興活動

(a) 飼料収穫調整と広域流通システム

(b) 品質管理の確立

(c) 新規コントラクター組織の育成・指導

群馬県におけるコントラクター組織の先駆者として
～高品質なWCSを供給するために～

2. 地域畜産振興活動

(b)品質管理の確立

耕畜連携を定着させる上で、良好な作業と良質な製品の提供が重要であることから、いくつかの取り組みを行っている。

①適期収穫の実現

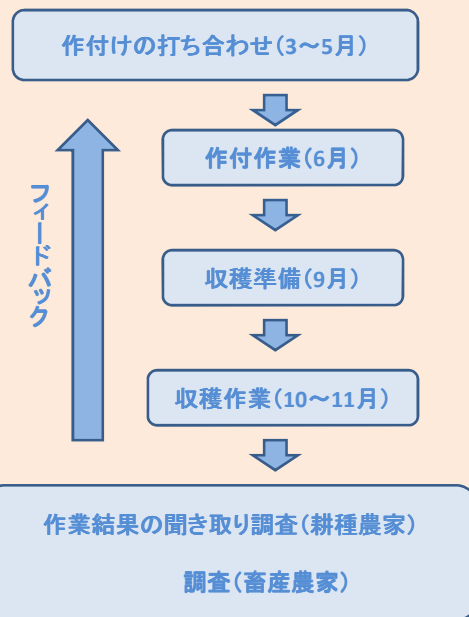
飼料収穫地域である高崎市と館林市両地域において刈り遅れを生じないために、異なる品種を作付けしている。

②利用者意見のフィードバック

作付け前に耕種農家との打ち合わせを十分行い、要望や意見を把握している。また、供給先である畜産農家における満足度調査を実施し、その意見を翌年度の生かしている。

③生産履歴の把握

WCSロールに対し、「生産履歴管理用ラベル」を貼り付けし、収穫年月日・団地名・圃場番号などを記載し、畜産農家から問い合わせがあった場合に、飼料の詳細を把握できるようにしている。



1. 地域の概況

2. 地域畜産振興活動

(a)飼料収穫調整と広域流通システム

(b)品質管理の確立

(c)新規コントラクター組織の育成・指導

3. 今後の目指す方向と課題

群馬県におけるコントラクター組織の先駆者として
～高品質なWC Sを供給するために～

2. 地域畜産振興活動

(c)新規コントラクター組織の育成・指導

群馬県において、当該事例はコントラクター組織の先駆けとなる組織であるが、労働力及び作業機器の保有数などの点で受託能力には限りがある。また、その立地条件などの点で、県内全域をカバーするには至っていない。

将来的には、県内各地域においてコントラクター組合が存在し、各組合が作業機器を保有していることが望ましい。

そのような展望のため、県内外問わず研修や視察を受け入れることとしている。



1. 地域の概況

3. 今後の目指す方向と課題

2. 地域畜産振興活動

(a)飼料収穫調整と広域流通システム

(b)品質管理の確立

(c)新規コントラクター組織の育成・指導

群馬県におけるコントラクター組織の先駆者として
～高品質なWCSを供給するために～

3. 今後の目指す方向 と課題

1. 価格に見合う高品質なWCS供給

満足度調査の意見として、品質に比べると価格が高めであるという意見がある。ただし、人員数および機械数から考えて、現在の価格を下回することは適正ではなく、価格自体を下げるのではなく、品質自体を高めることで価格に見合った高品質な飼料を提供できることを目標としている。

2. 新規コントラクター組織の増加

現状、県内全域をカバーすることは難しいため、「各地域に新たにコントラクター組織が出来ることを応援」し、「新規組織との連携を深めるとともに、農業公社が中心となり、良質な飼料を畜産農家に迅速に供給」できることを目標にしている。

そのためには、現地研修や視察等を継続していくことが重要だと考えている。

今後は、新規コントラクター組織の育成・指導に力を注ぎ、群馬県内で希望する全農家に対し、適正価格で良質なWCSが供給できる体制を取れるように努力していきたい。



1. 地域の概況

3. 今後の目指す方向と課題

2. 地域畜産振興活動

(a)飼料収穫調整と広域流通システム

(b)品質管理の確立

(c)新規コントラクター組織の育成・指導